5 iStorage NSのその他の使い方

- ネットワーク上のプリンタを使う
- グループウェアを使う

5.1　ネットワーク上のプリンタを使う

iStorage NS460/NS470/NS480 以外のモデルでは、設定できるプリンタは 5 台までです。6 台以上は設定しないでください。

5.1.1　ネットワークプリンタの追加

iStorage NS にプリンタを追加するには、以下の手順に従ってください。

1. 管理 PC からリモートデスクトップで iStorage NS にログオンします。
2. 管理者メニューから、[Print Management] を起動します。
3. Print Management 画面にて、本装置を選択し、右クリックにて表示されるメニューから[プリンタの追加] をクリックします。
   もしくは、[スタート] → [コントロールパネル] → [プリンタと FAX] → [プリンタの追加] をクリックします。
4. [プリンタの追加] ウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。
5. ローカルプリンタを選択し、[プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] の選択を解除します。[次へ] をクリックします。
6. [新しいポートの作成] を選択し、[Standard TCP/IP Port] (推奨) を選択します。
7. [標準 TCP/IP プリンタポートの追加] ウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。
8. プリンタの名前または IP アドレスを入力します。IP アドレスは通常、プリンタの構成ページに一覧表示されます。ウィザードによって[ポート名] フィールドは記入されます。[次へ] をクリックします。
9. ウィザードは、プリンタへの接続を試みます。プリンタに接続できた場合、[標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了] ウィザードページが表示されるので、[完了] をクリックします。プリンタに接続できなかった場合、[ポート情報がさらに必要です。] ページが表示されます。
   ① 入力された IP アドレスまたは名前が適切なことを確認します。
   ② プリンタネットワークアダプタを識別するために [標準] を選択します。ネットワークアダプタの製造元とモデルの一覧が表示されます。[標準]リストから適切なプリンタを選択します。

③ プリンタネットワークアダプタの使用している設定が標準的なものでない場合、[カスタム] をクリックして、[設定] をクリックします。[標準 TCP/IP ポートモニタの構成] ページが表示されます。プリンタネットワークアダプタの製造元が推奨する設定を指定して、[OK] をクリックします。

④ [次へ] をクリックします。

10. 表示される一覧からプリンタの製造元とモデルを選択し、[次へ] をクリックします。プリンタが一覧になかった場合、[ディスク使用] をクリックしてドライバをロードするか、または互換性のあるドライバを選択します。
11. iStorage NS 上で示される目的のプリンタの名前を入力し、[次へ] をクリックします。
12. ネットワーク上で使用されるプリンタの共有名を入力し、[次へ] をクリックします
13. 場所の説明とコメントを入力し、[次へ] をクリックします。
14. [テストページの印刷] を選択し、[次へ] をクリックします。
15. [完了] をクリックします。ページが印刷された場合は、[OK] をクリックします。印刷されなかった場合は[トラブルシュート] を選択します。

5.1.2 サポートOSの追加

デフォルトでは、Windows 2000 と Windows XP 用のモジュールがインストールされます。クライアントベースがそれ以外の Windows オペレーティングシステムで構成されている場合、追加のプリンタドライバをロードする必要があります。クライアント用にドライバをインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. 管理 PC からリモートデスクトップで iStorage NS にログオンします。
2. [スタート] → [プリンタと FAX] をクリックし、管理するプリンタを右クリックします。
3. [プロパティ] を選択します。
4. [共有] タブを選択します。
5. [追加ドライバ] を選択します。
6. 目的のオペレーティングシステムを選択して、[OK] をクリックします。
7. ディスクからドライバを追加するためのダイアログボックスが表示されますので、ドライバの場所を指定してください。

5.1.3 UNIX / Macintoshクライアントからの利用

UNIX クライアント、および Macintosh クライアントからプリンタサービスを利用して印刷する場合は、以下の手順に従ってサービスを開始してください。

UNIX クライアントの場合

1. 管理 PC からリモートデスクトップで iStorage NS にログオンします。
2. [スタート] → [管理ツール] → [サービス] をクリックします。
3. サービス一覧から [TCP/IP Print Server] を選択、右クリックし [プロパティ] をクリックします。
4. [スタートアップの種類] で [自動] を選択します。
5. [サービスの状態] で [開始] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

Macintosh クライアントの場合

1. 管理 PC からリモートデスクトップで iStorage NS にログオンします。
2. [スタート] → [管理ツール] → [サービス] をクリックします。
3. サービス一覧から [Print Server for Macintosh] を選択、右クリックし [プロパティ] をクリックします。
4. [スタートアップの種類] で [自動] を選択します。
5. [サービスの状態] で [開始] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

5.2　グループウェアを使う

本機能は、iStorage NS460 / NS470 / NS480 のみで使用可能です。

SharePoint サービスは、複数のユーザーがドキュメント、タスク、連絡先、イベント、およびその他の情報で共同作業できる、情報共有 Web サイトです。サイトはチームごとに作成して運用することが可能で、チームの作業内容に応じたカスタマイズも可能です。

SharePoint サービスには、イベント、チームが情報交換を行っている人の名前と電話番号、および作業アイテムなどの情報を追加できます。また、次の操作も行うことができます。

・他のチーム メンバーと共有するドキュメントを投稿します。

・ニュースグループ形式のディスカッションを行います。

・チームで投票を行い、意思決定を行います。

チーム メンバーが、ドキュメント、リスト、ディスカッション、およびアンケートを追加または削除すると、SharePoint サービス はコンテンツへのリンクを自動的に更新して、常にコンテンツにアクセスできるようにします。また、通知を作成すると、サイトに変更が加えられたときに連絡を受信できます。

サイト内のページは、情報のリストを表示して、チーム メンバーが自由に、件名、期限、または作成者ごとに情報を整理できるようにします。たとえば、次の操作を行うことができます。

・自分に関係のある一連の情報のみを表示するように制限します。

・関心のない情報を非表示にします。

・情報を一覧する順序を変更します。

・ユーザー設定のビューを設定して、すばやく、かつ簡単にチーム メンバーが関連する情報を表示できるようにします。

ここでは、SharePoint サービス を使用するための基本的な手順を示しています。詳細に関しては、ヘルプを参照してください。

本装置に格納している SharePoint サービス は Service Pack 2 対応版です。 最新の SharePoint サービス については、マイクロソフト社のホームページをご確認ください。
また、マイクロソフト社のホームページ上には、SharePoint サービス の詳細なヘルプが公開されていますので、こちらもご参照ください。
http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=a637eff6-8224-4b19-a6a4-3e33fa13d230&DisplayLang=ja
(2009年7月16日現在)

5.2.1 SharePoint サービスのインストール

5.2.1.1 インストール前の設定

SharePoint サービス をインストールするためには、事前に以下の設定が必要です。

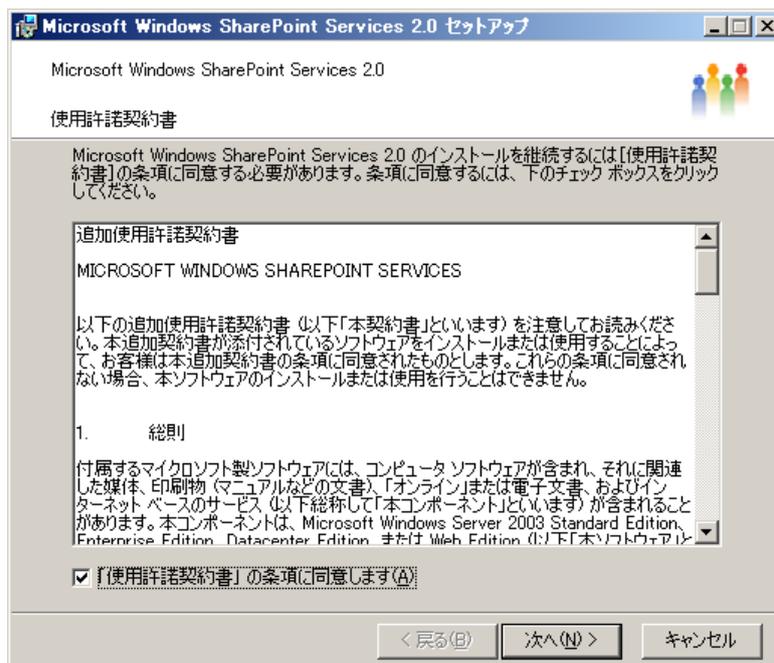
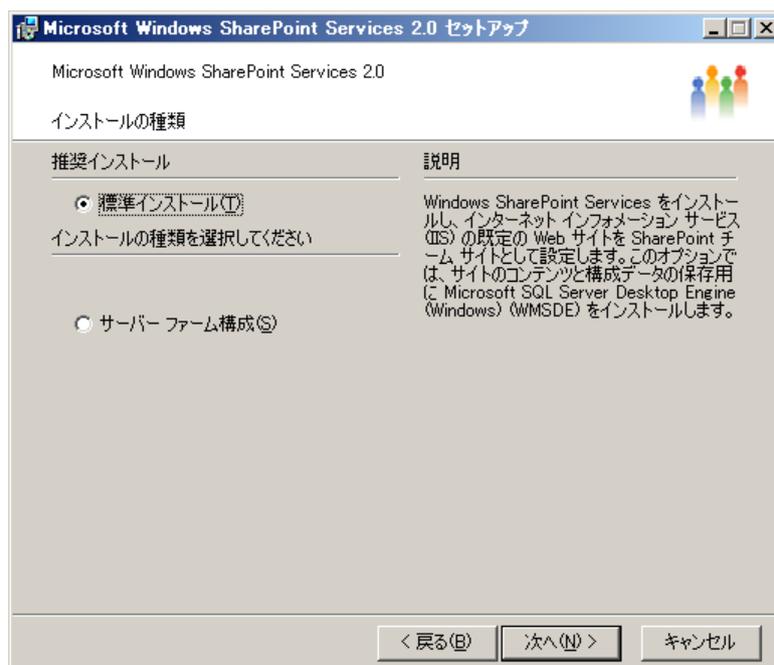
・コンピュータ名の設定

・SMTP サービスの設定

SharePoint サービス のインストール後、コンピュータ名を変更する場合は、構成データベース サーバーの再設定が必要となります。構成データベース サーバーの再設定は、[スタート] → [管理ツール] → [SharePoint のサーバー管理] → [構成データベース サーバーの設定] から行います。詳細については、SharePoint サービス のヘルプを参照してください。

SharePoint サービスでは、管理用の通知およびユーザーの招待を行う場合に、電子メールを使用します。通知および招待のメッセージを送信するには、事前に電子メール サーバーの設定が必要です。
SMTP サービスは、既定ではインストールされません。SMTP サービスをインストールしていない場合、または IIS に既定の SMTP 仮想サーバーが表示されない場合は、SMTP サービスをインストールする必要があります。SMTP サービスのインストール、構成、または管理の詳細については、インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャのヘルプを参照してください。

5.2.1.2　インストール

1. クライアントから iStorage NS サーバーへリモートデスクトップにてログオンします。
2. [スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択し、“C:¥SHAREPOINT¥STSV2.EXE” と入力ます。
3. [使用許諾契約書」の条項に同意します] を有効にし、[次へ] ボタンをクリックします。

4. [標準インストール] が選択されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

5. [完了] ボタンをクリックします。インストールが開始されます。

6. インストール完了後、[スタート] → [管理ツール] に、[SharePoint のサーバー管理] が追加されたことを確認します。

以降のページでは、サーバーの管理および、チームサイトの作成、チームサイトの利用を簡単に説明します。詳しい管理や作成、利用方法については、ヘルプを参照してください。

5.2.2 SharePoint サービス サーバーの管理

ここでは、SharePoint サービス サーバーを管理するための機能を説明します。その後、SharePoint 管理者の作成と管理用電子メールを設定し、実際に Web サイトを作成します。詳細に関しては、ヘルプを参照してください。

5.2.2.1 サーバーを管理するための機能

SharePoint サービス サーバーの管理は、[SharePoint のサーバー管理] より行います。
[SharePoint のサーバー管理] では、以下の構成を設定できます。

1. 仮想サーバーの構成

新しい仮想サーバーへの Windows SharePoint Services のインストール、仮想サーバー上のすべてのサイトの設定の構成、または新しいトップレベル Web サイトの作成を行います。設定できる項目は以下のとおりです。

・仮想サーバーの拡張またはアップグレード
・トップレベル Web サイトの作成
・サイト コレクションの削除
・仮想サーバー設定の構成

2. セキュリティの構成

すべての仮想サーバーに影響するセキュリティ オプションの更新、および単一のトップレベル Web サイトのユーザー情報の追加、更新、または変更を行います。設定できる項目は以下のとおりです。

・SharePoint 管理グループの設定
・サイト コレクションの所有者の管理
・Web サイト ユーザーの管理
・ブロックするファイルの種類の管理
・ウイルス対策設定の構成

3. サーバーの構成

電子メール、データベース、および Web サーバーを含むサーバー接続の設定と更新を行います。設定できる項目は以下のとおりです。

・既定の電子メール サーバー設定の構成
・Web サーバー リストの管理
・既定のコンテンツ データベース サーバーの設定

・構成データベース サーバーの設定

・HTML ビューアの構成

・サーバー管理用の仮想サーバーの構成

4. コンポーネントの構成

検索、利用状況分析、およびクォータを含む、すべての仮想サーバーで動作するコンポーネントを管理します。設定できる項目は以下のとおりです。

・全文検索の構成

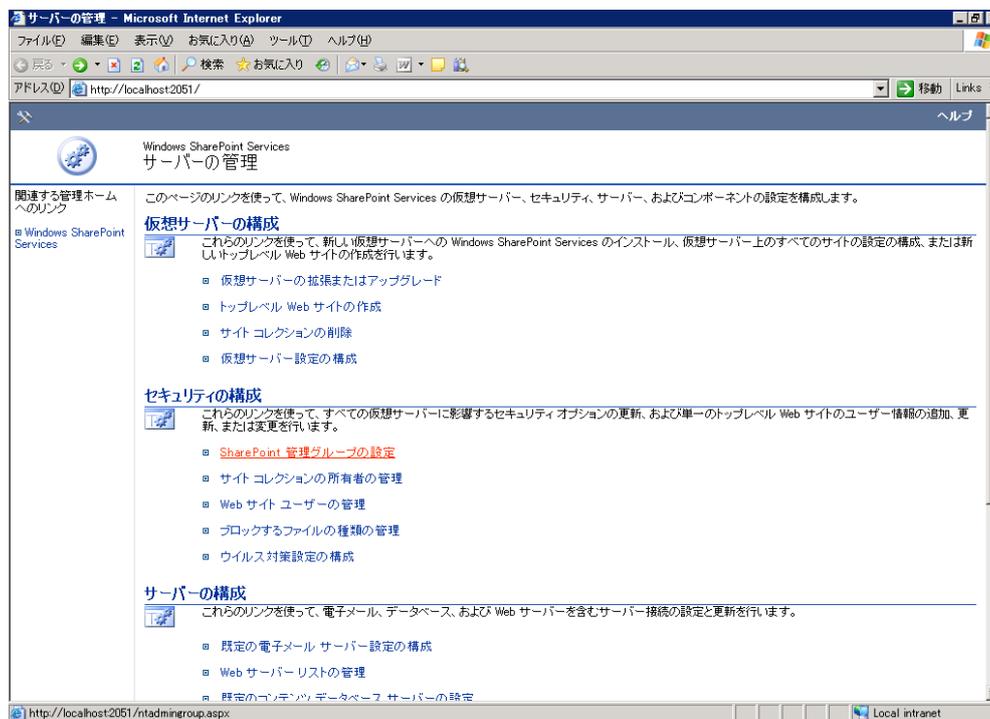
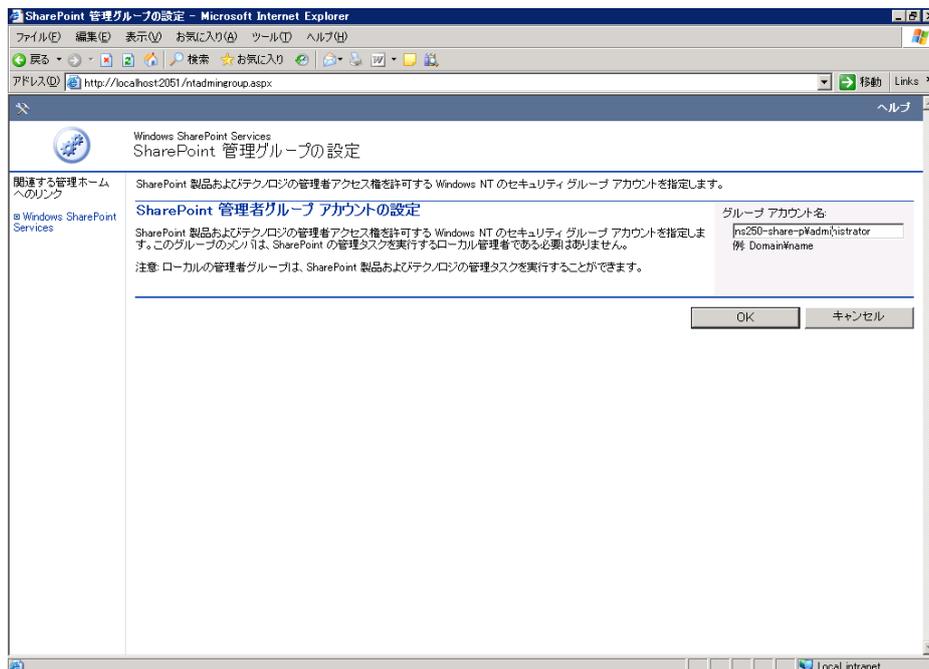
・利用状況の分析処理の構成

・クォータとロックの管理

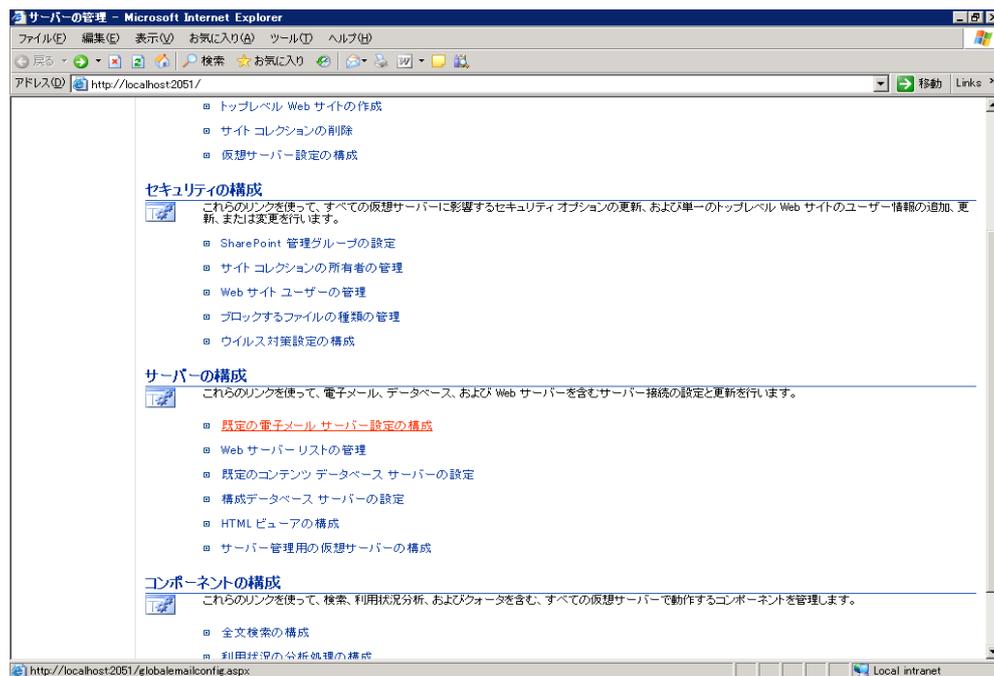
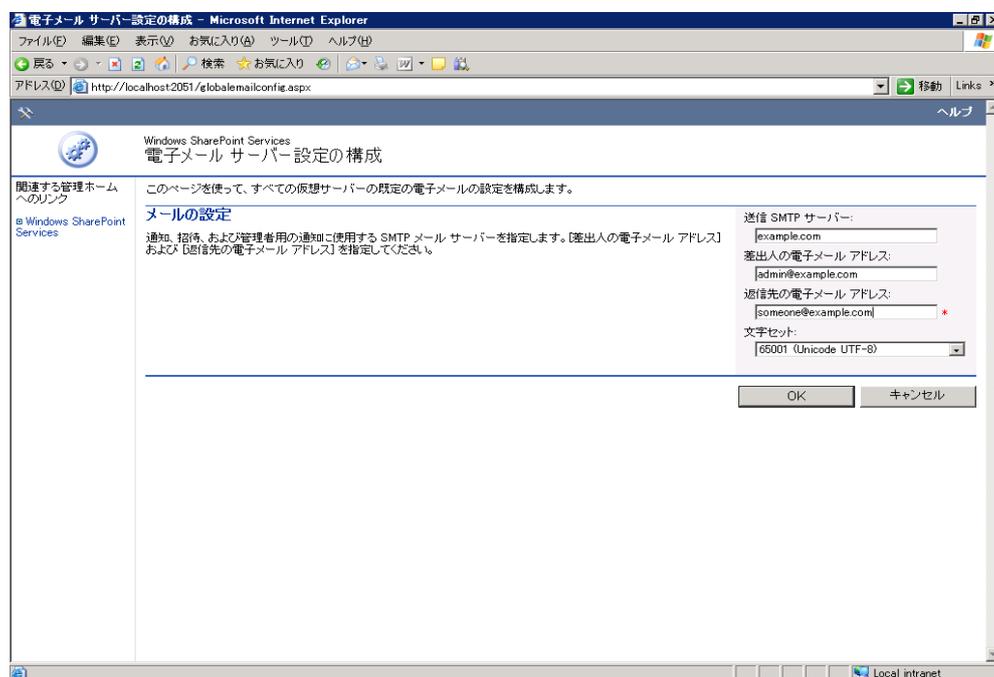
・データ取得サービス設定の構成

5.2.2.2 SharePoint 管理者の作成

管理者には、SharePoint サイト全体を管理できる SharePoint 管理者とチームサイトだけを管理できるサイト管理者の 2 種類があります。今回は、SharePoint サイト全体を管理できる SharePoint 管理者を作成します。

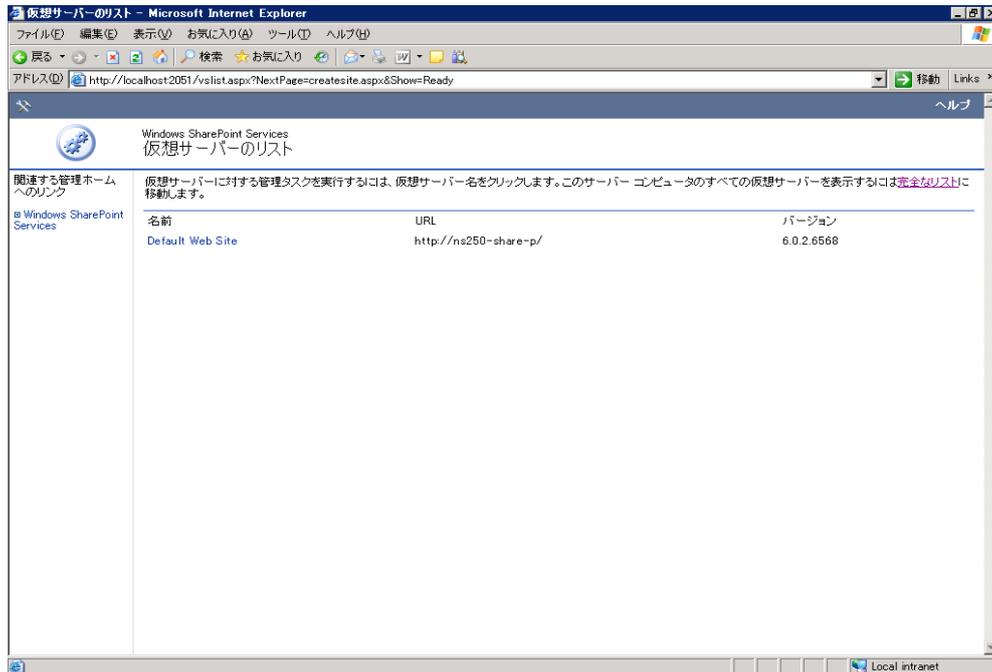
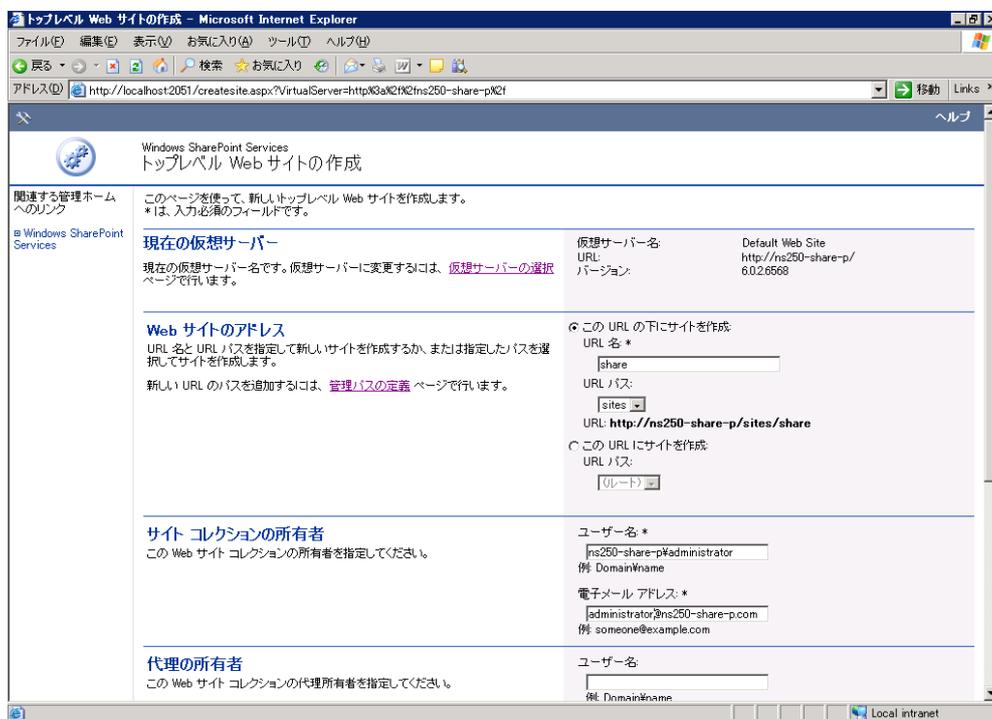
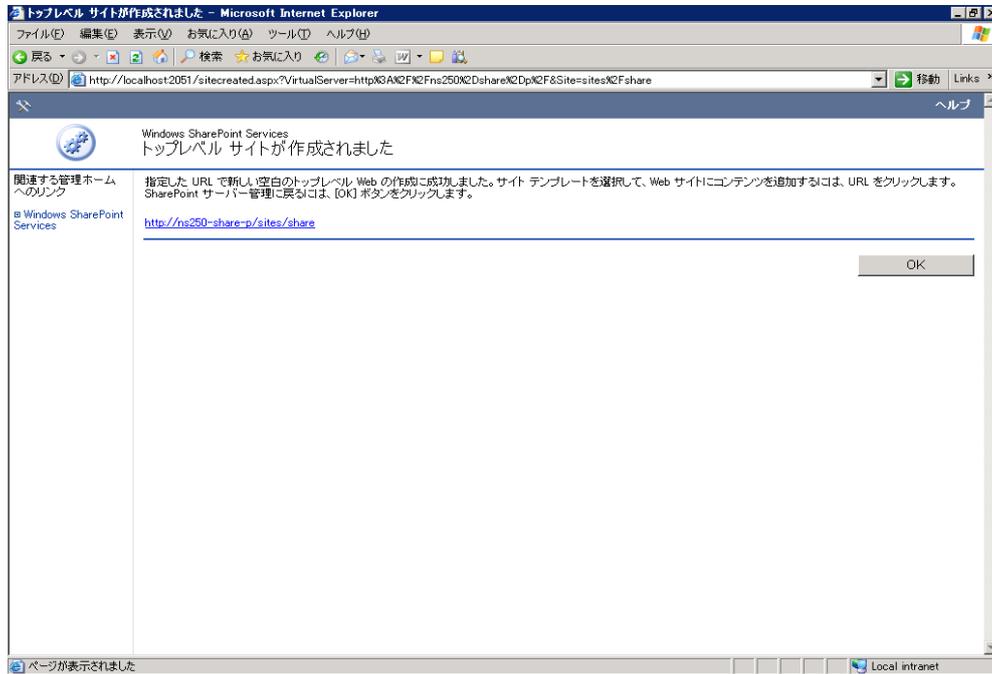
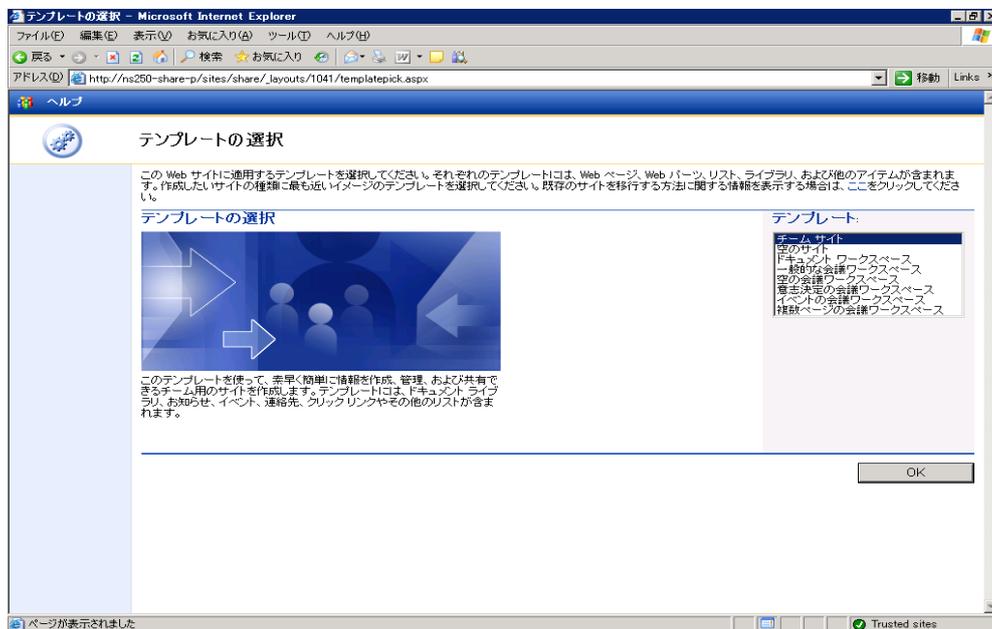
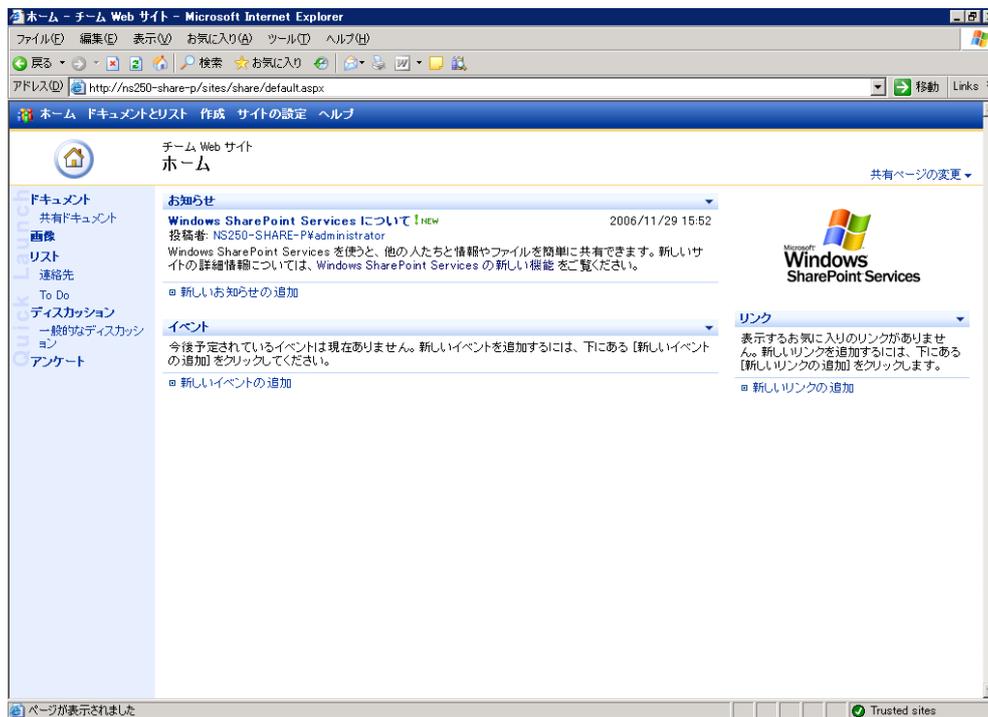
1. クライアントから iStorage NS サーバーへリモートデスクトップにてログオンします。
2. [SharePoint 管理グループの設定] をクリックします。

3. [グループ アカウント名] を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

5.2.2.3　管理用電子メールの設定

SharePoint サイトでは、管理用の通知およびユーザーの招待を行う場合に、電子メールを使用します。通知および招待のメッセージを送信するには、事前に電子メール サーバーの設定が必要です。

1. [既定の電子メール サーバー設定の構成] をクリックします。

2. [送信 SMTP サーバー]、[差出人の電子メール アドレス]、[返信先の電子メール アドレス] を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

5.2.2.4 チーム サイトの作成

それでは実際に、チーム サイトを作ってみましょう。

1. [スタート] → [管理ツール] → [SharePoint のサーバー管理] をクリックし、[サーバーの管理] 画面を開きます。
2. [トップレベル Web サイトの作成] をクリックします。

3. [Default Web Site] をクリックします。

4. [Web サイトのアドレス] で、[この URL の下にサイトを作成] をチェックし、[URL 名] を入力します。続けて、[サイト コレクションの所有者] で、[ユーザー名] と [電子メール アドレス] を入力し、画面を下にスクロールさせ、[OK] ボタンをクリックします。

5. [トップレベル サイトが作成されました] 画面が表示されます。4. で設定した Web サイトのアドレスをクリックします。

6. [テンプレートの選択画面] が表示されます。[テンプレート] の一覧で、[チーム サイト] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

7. チーム サイト が作成されました。

5.2.2.5 コマンド情報

SharePoint サービス サーバーの管理は、「stsadm.exe」コマンドを使用して行うこともできます。コマンドライン操作の一覧を表示するには、コマンド ラインで「stsadm.exe -help」と入力します。特定の操作に関する構文のヘルプを参照するには、「stsadm.exe -help <operation name>」と入力します。

なお、既定では、コマンドへの PATH が通っておりません。コマンドへの PATH は以下のとおりです。

“C:¥Program Files¥Common Files¥Microsoft Shared¥web server extensions¥60¥BIN”

5.2.3 チーム サイト の機能

SharePoint サービス では、サイトを作成した直後から、すぐにチーム内での共同作業が可能になります。チーム サイト では、以下の機能が利用できます。

ドキュメント ライブラリ

・ドキュメント ライブラリ

共有したいドキュメントのコレクションやその他のファイルがある場合、ドキュメント ライブラリを作成します。ドキュメント ライブラリは、サブフォルダ、ファイルのバージョン管理、およびチェックインチェックアウトなどの機能をサポートします。

・フォーム ライブラリ

業務報告書や発注書などの XML ベースのビジネス フォームを管理するためのフォーム ライブラリを作成します。これらのライブラリを利用するには、Microsoft Office InfoPath などの Windows SharePoint Services 互換の XML エディタが必要です。

・画像ライブラリ

画像を共有するための画像ライブラリを作成します。画像ライブラリでは、サムネイル、ダウンロード オプション、およびスライドショー表示などの画像の管理と表示に便利な特別な機能が提供されます。

リスト

・リンク

共有したい Web ページやその他のリソースへのリンクがある場合、リンクのリストを作成します。

・お知らせ

共有したいニュースや報告事項などの簡単な連絡事項などがある場合、お知らせリストを作成します。

・連絡先

顧客や関連部署など作業に関連する人の情報を管理する場合、連絡先リストを作成します。連絡先リストと Windows SharePoint Services 互換の連絡先プログラム間で情報を共有できます。

・イベント

今後予定される会議、締め切りのある仕事、その他の重要なイベントなどを表示する予定表が必要な場合、イベント リストを作成します。イベント リストと Windows SharePoint Services 互換のイベント (予定表) プログラム間で情報を共有できます。

・To Do

個人またはチーム間で必要な作業項目を管理する必要がある場合、To Do リストを作成します。

・案件

一連の案件や問題点を管理する場合、案件リストを作成します。担当者や優先度、および開始から完了までの案件の進捗状況を把握します。

カスタム リスト

・カスタム リスト

独自に列を指定して、カスタム リストを作成します。リストは、Web ページとして開き、一度に 1 アイテムの追加や編集が行えます。

・データシート ビュー形式のカスタム リスト

独自に列を指定して、カスタム リストを作成します。リストは、データの入力、編集、および書式設定に便利なスプレッドシート形式で開きます。このリストを利用するには、Windows SharePoint Services 互換のリスト データシート コントロールおよび ActiveX コントロールのサポートが必要です。

・スプレッドシートのインポート

既存のスプレッドシートなどの同じ列とコンテンツのあるリストを作成する場合、スプレッドシートをインポートします。スプレッドシートのインポートには、Windows SharePoint Services 互換のスプレッドシート アプリケーションが必要です。

ディスカッション掲示板

ニュースグループ形式のディスカッションの場が必要な場合、ディスカッション掲示板を作成します。ディスカッション掲示板では、ディスカッションのスレッドを管理したり、承認された投稿だけ表示させたりできるような機能が提供されます。

アンケート

他の Web サイトのユーザの調査を行いたい場合、アンケートを作成します。アンケートでは、簡単に質問を作成したり、ユーザの回答方法を定義する機能が提供されます。

Web ページ

・基本ページ

簡単な Web ページを追加したい場合に、基本ページを作成します。Web ブラウザを使って、テキスト、画像、および表を追加して、ページを変更できます。

・Web パーツ ページ

1 つ以上の Web パーツを表示するサイトに Web ページを追加するための Web パーツ ページを作成します。Web パーツを使用すると、現在のサイトにあるリストのビューから世界中でホストされる Web サービスにある最新のデータまで、あらゆる情報を表示できる Web ページを簡単に作成できます。また、Web パーツ ページは、ユーザーごとに関連する情報だけを参照できるように個人用に設定できます。

・サイトとワークスペース

Web ページ、リスト、およびドキュメント ライブラリで構成されるサイトまたはワークスペースを作成します。例えば、新しいチームやプロジェクト、ドキュメントでの共同作業、または会議の準備を管理するサイトを作成できます。

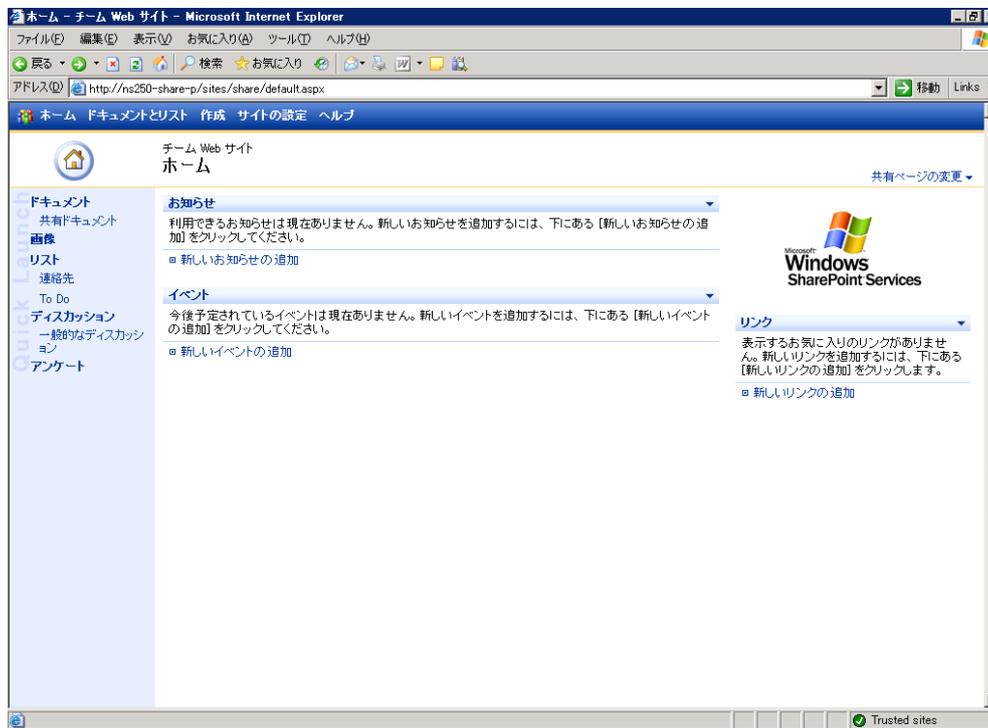
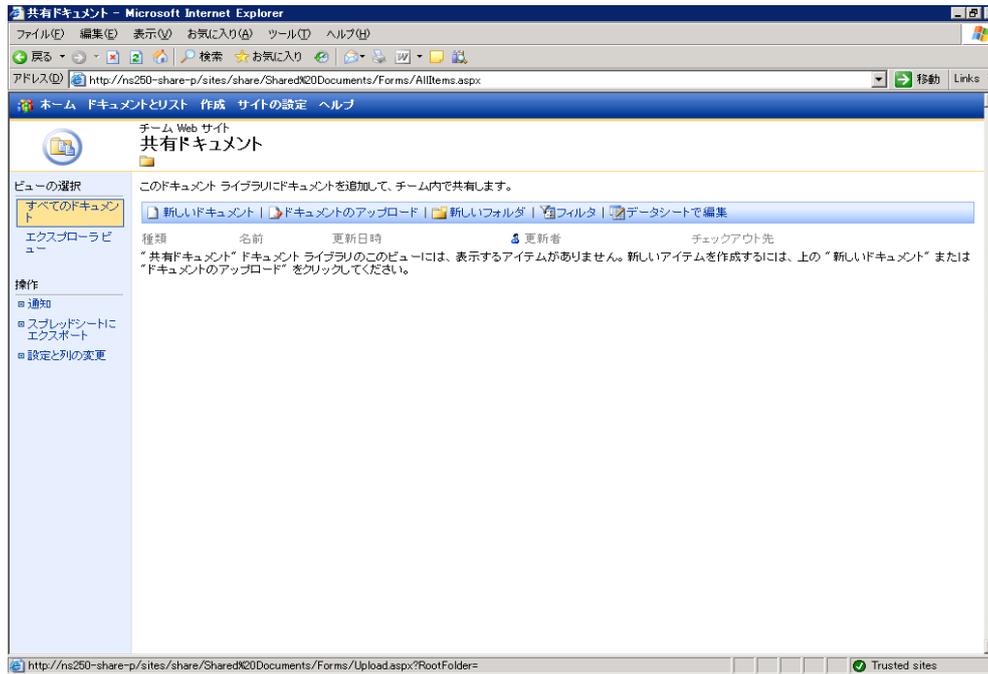
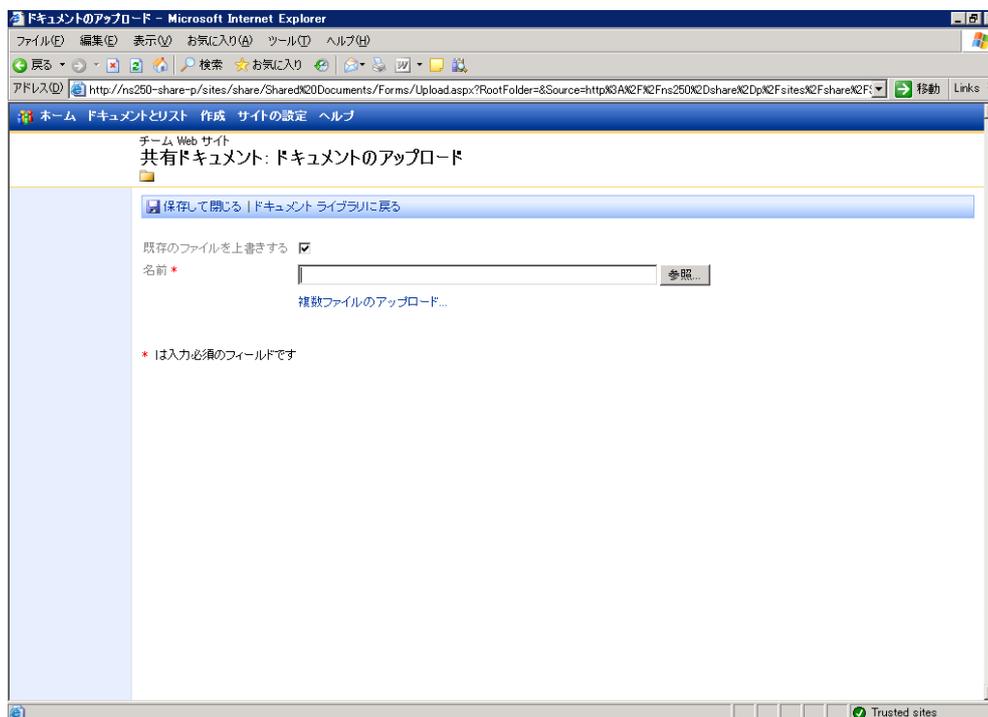
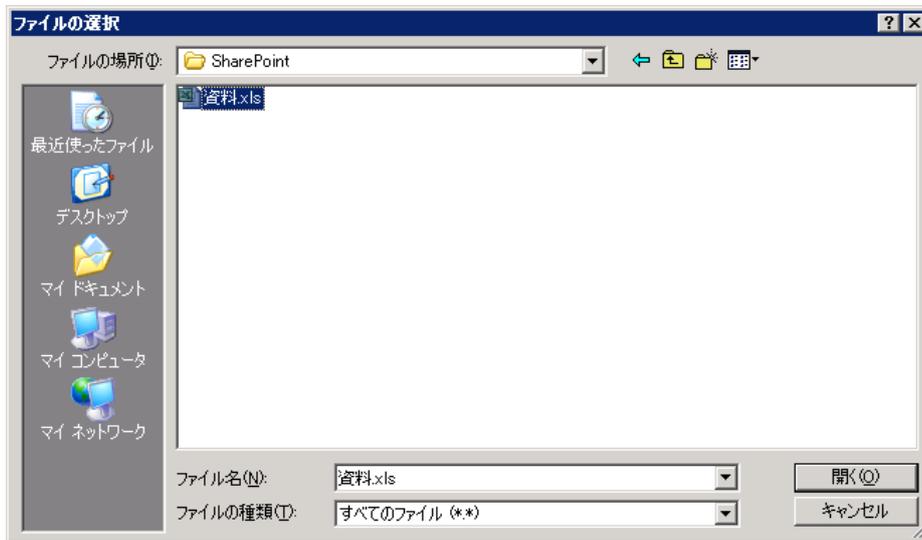
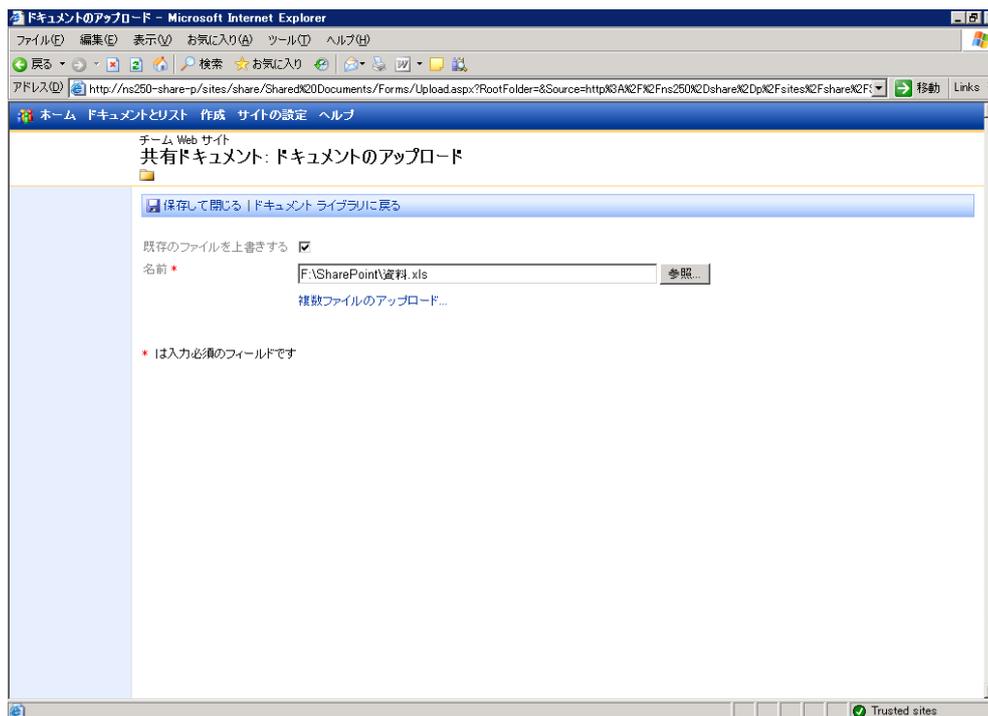
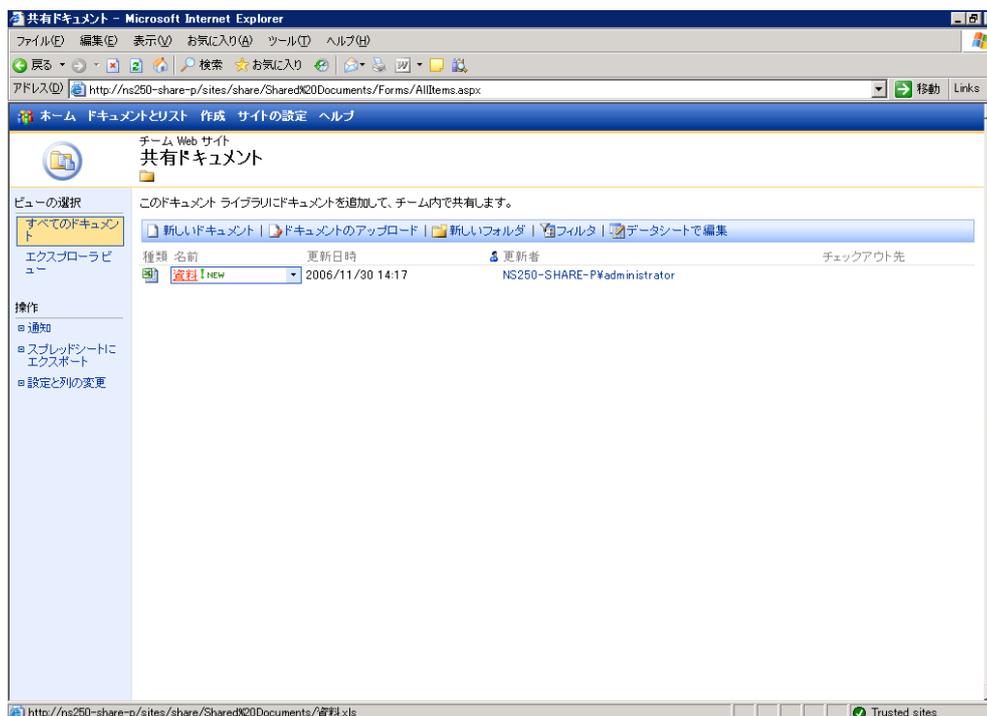
5.2.3.1　チーム サイト の利用

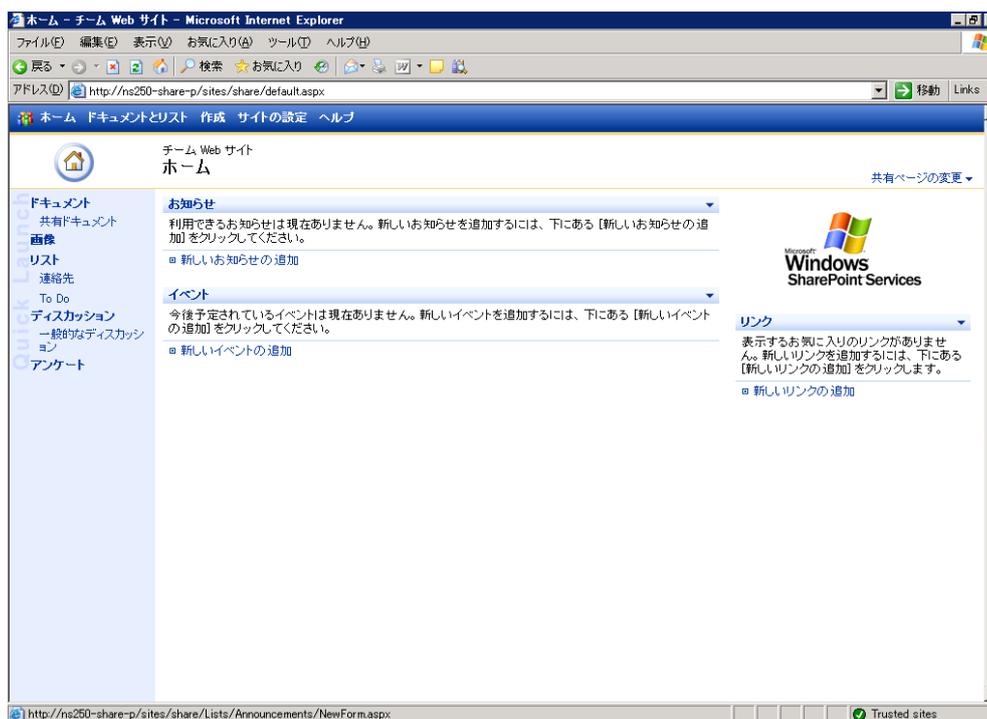
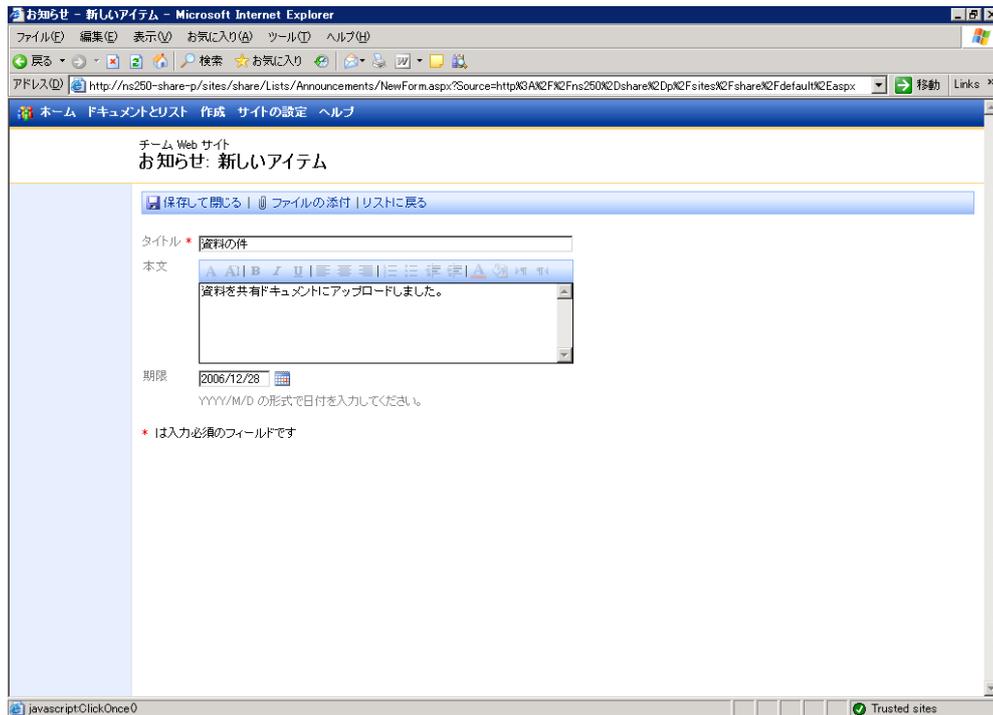
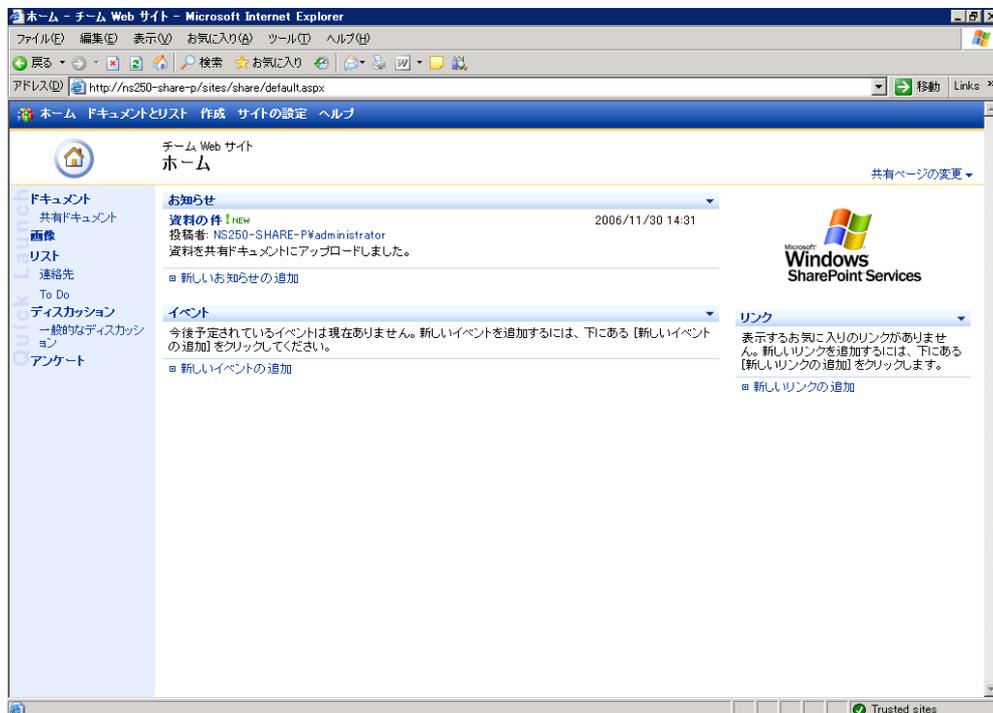
基本的なページ テンプレートを実際に使用して、コンテンツを作成します。

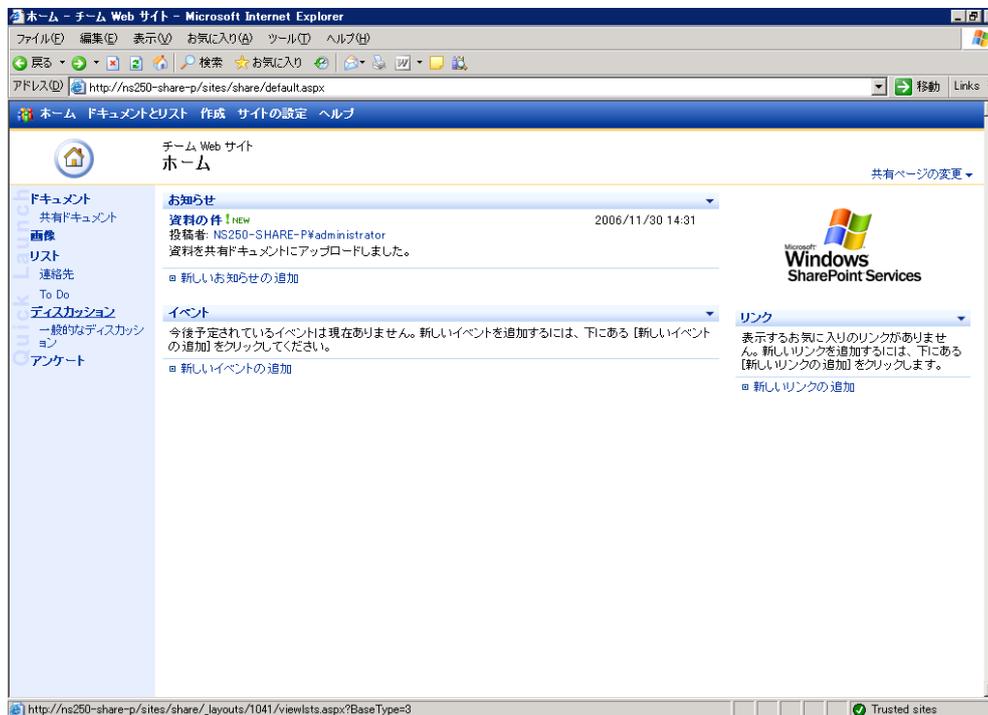
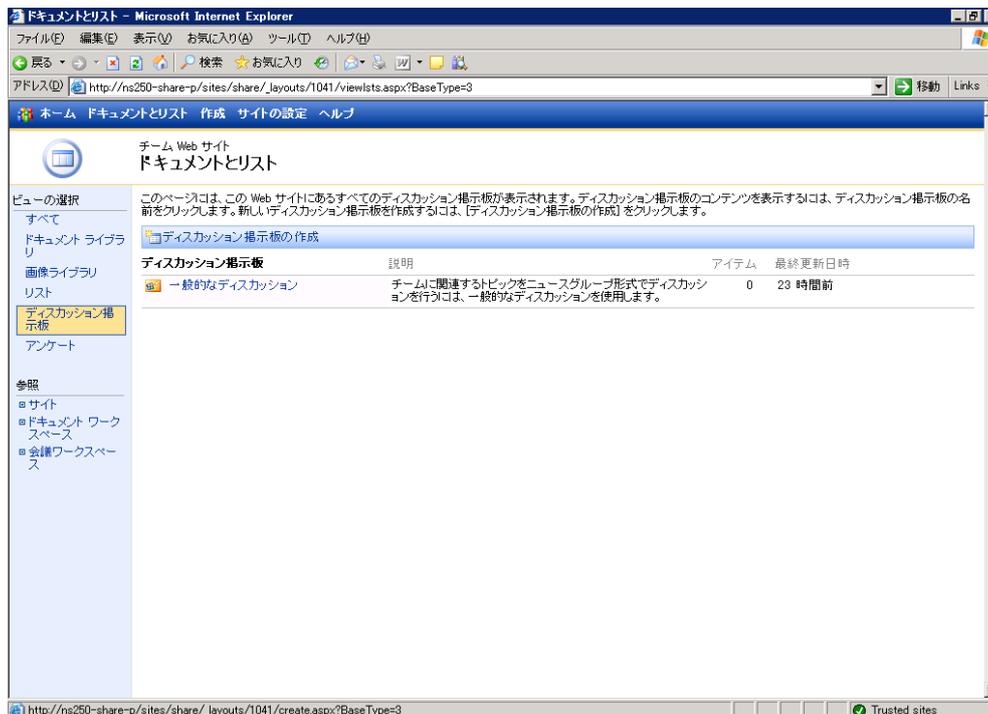
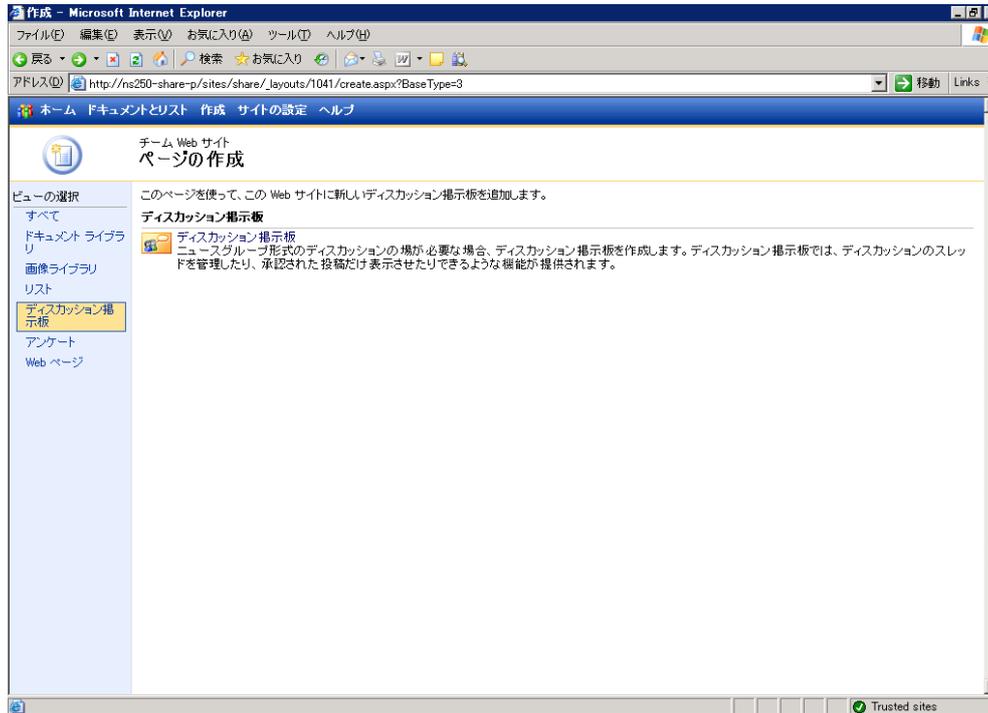
ここでは、[ドキュメント ライブラリ] に資料をアップロードし、その旨を [お知らせ] を使い通知し、資料の内容について議論するために、[ディスカッション掲示板] を設置します。

ドキュメント ライブラリ に資料をアップロードする

クライアント PC の Web ブラウザにて、チーム サイト のアドレスを入力します。

1.　[共有ドキュメント] をクリックします。

2. [ドキュメントのアップロード] をクリックします。

3. [参照] ボタンをクリックします。

4. アップロードするファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

5. [保存して閉じる] をクリックします。

6. 共有ドキュメント にファイルが追加されました。

ドキュメントライブラリ に資料をアップロードした事を お知らせ を使い通知する

1. [ホーム] をクリックします。
2. [新しいお知らせの追加] をクリックします。

3. [タイトル]、[本文]、[期限] を入力し、[保存して閉じる] をクリックします。

4. 投稿した お知らせ が表示されます。

ディスカッション掲示板を設置する

1. [ディスカッション] をクリックします。

2. [ディスカッション掲示板の作成] をクリックします。

3. [ディスカッション掲示板] をクリックします。

4. [名前]、[説明] を入力し、[ナビゲーション] を設定後、[作成] ボタンをクリックします。

5. 作成したディスカッションが表示されます。